

Oracle Financial Services IFRS 17 ソリューション

オラクルは、多様な保険業界がIFRS17の財務会計要件を充足し、新しい基準に従って負債と未稼得利益を測定および報告するために、包括的なソリューションを提供します。Oracle IFRS17ソリューションは、オラクルのリスクと財務の統合アーキテクチャに基づいて構築されており、データ集約とCSM計算機能を標準提供すると同時に、財務および保険数理アプリケーションとシームレスに統合し、会計、パフォーマンス管理、リスク管理、およびレポート作成を単一のプラットフォームで実現します。

2017年5月、国際会計基準審議会（IASB）は、保険契約に関する最初となるグローバルな会計基準を導入しました。20年間の審議の結果、国際財務報告基準（IFRS）17保険契約は、保険契約の会計処理のすべての側面に一貫性をもたせ、アナリスト、投資家、規制当局が、企業や該当する契約の収益性と負債を有意義に解釈できるようにすることを目的としています。

しかし、これを実現するために、IFRS17によって最も影響を受ける保険業界は非常に困難な課題に立ち向かわなければいけません。これまで、ほとんどの保険会社は標準的な会計制度なしで運営されていました。現在、保険業界はプロセスとシステムを新しい統一基準にアップグレードするために多くの困難に直面しています。保険負債と未稼得利益の測定に関する包括的な要件は、ビジネスプロセスに大きな影響を与える一方、データと計算の粒度については、ディスクロージャレポートや管理レポートのアウトプットを集約するという課題があります。

では、これはIFRS第17号を採用する必要のある保険会社やその他の金融機関にとって、何を意味するのでしょうか。

簡単に言えば、保険数理、リスク、財務のプロセスと機能を連携するために、データとその正確性、集約、ガバナンス、透明性、および使いやすさに焦点を当てる取り組みを倍増する時が来たということです。



図 1: IFRS 17 の困難な課題

IFRS 17 保険契約

この基準は、保険契約の測定原則を導入するものであり、以下が要求されます。

- 将来のキャッシュフローの最新、明示的かつ偏りのない見積もり
- 契約キャッシュフローの特性を反映する割引率
- 非財務リスクの明示的調整

Day1の利益は、契約サービスマージン（CSM）として繰り延べられ、エンティティが保険サービスを提供し、その後リスクから解放されるまで、利益または損失に体系的に配賦されます。

収益はDay1の保険料と同じではなくなりましたが、保険負債が消滅するにつれて時間の経過とともに実現益となります。

完全に新しい会計およびディスクロージャ要件

財務諸表の見直し

データ、システム、プロセスへの多大な影響

OUM (オラクル・ユニファイド・メソドロジー) の原則

反復と増分: OUMは、情報システムの開発と実装には、反復と増分アプローチが有益であることを認識しています。

ビジネスプロセスとユースケース重視: ビジネスプロセスとユースケースは、ドライバーとして使用されます。

アーキテクチャ重視: システムは、複数レベルの変更を取り込むための機能を備えた、柔軟な環境として構築されます。

柔軟性と拡張性: OUMでは、メソッドプロセスそのものを参照するために拡張されます。プロジェクトマネージャと作業者は、与えられた状況の目的に合うようにOUMを拡大するよう推奨されます。

リスクにフォーカス: OUMの主な焦点は、最大のプロジェクトリスクに対処し削減することです。これにより、プロジェクトチームは、最も重要なリスクを、プロジェクトのライフサイクルの中で、可能な限り早期に特定、対応できます。

図 2: OUMの原則

オラクルは違いを生む

将来に備えた包括的なソリューション。

オラクルは、金融サービス業界での豊富な経験を生かし、保険会社がこれらの課題に対処し、複雑な要件に包括的かつタイムリーに準拠できるようにするためのソリューションを提供します。

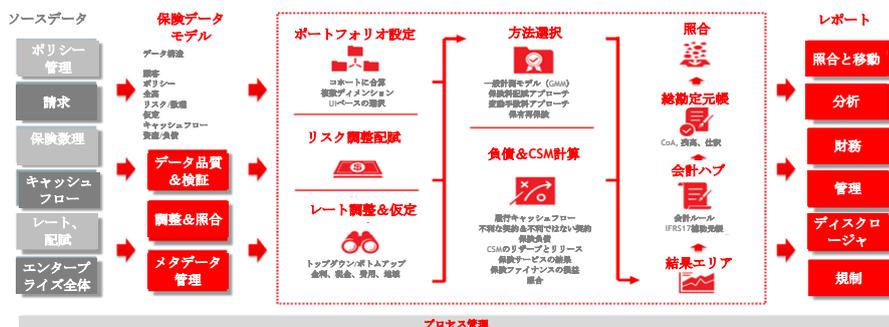


図 3: Oracle IFRS 17 ソリューションのアーキテクチャ

会計の統合と配賦

会計上の変更であるIFRS17は、データ（例：実際のキャッシュフロー）およびモデル化のインプット（例：予想される将来のキャッシュフローおよびリスク調整）にもとづくレポートおよびディスクロージャにかなりの変更を加える必要があります。さらに、直接帰属するコストと保険数理計算（たとえば、グループ/ポートフォリオレベル）は、より詳細なレベル（たとえば、ポリシーまたはモデルポイントレベル）に分解する必要があります。IFRS17の要件に対応するには、既存の元帳を刷新する必要があります。IFRS17の実装には、ソースシステムと保険数理モデリングを更新された会計（元帳）と統合し、財務管理、監査、照合、および配賦機能と組み合わせることが重要です。

保険数理モデル

予測キャッシュフローとリスク調整は、IFRS第17号の測定値に到達するための保険数理モデルからの重要なインプットです。グループ化要件、特に1年をベースにしたグループ化要件に対応するために、キャッシュフローモデルを更新する必要がある場合があります。保険会社は、必要に応じて独自の

主なビジネス上のメリット

- 実装のタイムラインを加速するための事前構築された柔軟な保険データモデル

- 金融およびアクチュアリー向けの統合プラットフォーム

- より正確な利益測定と収益認識

- 収益性と価格設定の原則 - 保険負債とCSMの評価

- データ管理 - 品質チェック、メタデータ、系統

- 保険の他のユースケースに容易に拡張可能

- 計算とレポートの透明性、監査性、トレーサビリティ

- 迅速な決算と報告のための迅速な会計と照合

- 制御とガバナンスのためのプロセスオーケストレーション

- 事前に作成されたレポートとディスクロージャ

- 規制やプロセスの変更を組み込むための将来性のあるプラットフォーム

スク調整モデルを自由に選択でき（ただし、コホートレベルで）、ソルベンシーIIのリスクマージンモデルとの類似点を引き出すことができますが、それに先立って、モデリングの観点からのIFRS17とソルベンシーIIの違いについて広範なレビューが必要です。

保険データモデル

CSMおよび負債測定のために、CRM、ポリシー管理、請求管理、保険数理システム、市場データプロバイダー、エンタープライズデータなど、さまざまなソースシステムからのデータを統合し標準化します。モデルを拡張することで、保険関連のリスク、財務、保険数理データのソーシングとプロビジョニングのための統合プラットフォームとして機能し、保険会社のさまざまなビジネスユースケース（保険契約、保険金請求、取引、再保険、自己資金、ソルベンシーII、資産/負債、商品、保険数理、市場データ、キャッシュフロー、レポートなど）に対応します。

データ品質と照合

事前コンフィギュレーションされコンテキスト化されたデータ品質チェックと照合フレームワークを使用して入力データを検証し、データが計算とレポート作成に使用される前に、トランザクションシステムと分析システムの残高が一致することを確認します。

ポートフォリオの集約

商品、地域、通貨、オリジネーション日、保険期間、補償範囲タイプなどの複数の側面に基づいて、契約をポートフォリオに集約します。さらに類型を組み合わせ、リスク調整の割り当て、履行キャッシュフロー、および面倒な識別等の管理を可能にするIFRS17グループを決定します。

イールドカーブ調整

レート曲線をアップロードし、財務上の仮定と利息増加のための確定レートを定義します。レートは、保険契約を分析するためのボトムアップおよびトップダウンのアプローチに基づいて調整でき、類似した手法の市場データから導き出すことができます。

契約サービスマージンと負債測定

事前コンフィギュレーションされたビジネスルールを、GMM、PAA、VFA、および再保険の計算に活用します。測定手法と関連する変数は、ルールやメソッドロジックの変更に合わせて簡単に変更でき、ソースシステムからのデータの粒度に従って定義できます。ポートフォリオは、比較分析およびwhat-if分析のために、1つまたは複数の測定手法にマッピングして分析できます

運動解析と負債照合

レポート期間と契約グループごとに、（現在および将来のサービスに関連する）履行キャッシュフローとポリシー体験、費用、請求、および保険料の変化をCSMまたは負債に対し分析します。さらに、発生した請求に対する負債と残りの補償範囲（損失コンポーネントを含む）に対する負債を照合し、保険サービスの結果と保険ファイナンスの損益への影響を分析して、保険収益に関する完全なインサイトを提供します。分析、財務、または管理レポート用の新しいレポートとダッシュボードを簡単に作成できます。

会計イネーブルメント

保険収益と損失の一貫したポスティングルール、イベント、および勘定科目表を定義することにより、ダウンストリーム会計を実現します。照合と移行のためにIFRS17補助元帳を保持し、準拠した監査性の高い会計、報告、集約を実現します。会計プロセスから生じる仕訳エントリを可視化し、ソースと照合し、（OracleまたはOracle以外の）総勘定元帳の記録システムにエクスポートする前に、アクションが必要な例外事象を検知します。勘定科目表の外側にあるビジネスディメンションとトランザクション属性を使用してレポートと分析を構築することにより、さらにインサイトを得ることができます。

ワークフローとコントロール

プロセス、入出力、マッピング、計算ロジックを表示および制御するため、ワークフローの視覚的なオーケストレーションをサポートします。

IFRS 9への拡張性

統合された分析アプリケーション・インフラストラクチャを活用して、IFRS9の減損要件を同じプラットフォーム上に実装します。オラクルは、さまざまなポイントソリューション間の統合を構築する必要なしに、企業内のすべての分析要件に対応する統合プラットフォームを提供します。データ、結果、分析機能はアプリケーション間で共有され、他のビジネスユースケース向けに同じプラットフォームをスケールアップすると同時に、増分作業を削減します。

CLOUD 上に実装

オンプレミス（従来の基盤）から、Cloud @ Customer（クラウドマシン）、パブリッククラウドに至るまでの複数の導入オプションが可能です。

ORACLE FINANCIAL SERVICES ANALYTICAL APPLICATIONS

Oracle Financial Services Analytical Applications (OFSAA) は、グローバルな金融サービス業界向けソリューションです。Oracle Financial Services Analytical Applications は、統合された金融サービスデータモデル、分析計算、および業界をリードするOracle Business Intelligence プラットフォームで構成される分析インフラストラクチャ上に構築されています。これらのコンポーネントは、アプリケーション間で活用され、企業全体のデータの一貫性、トレーサビリティ、および可用性を確保します。したがって、金融サービス業界の複雑な規制およびコンプライアンス要件の多くを達成するために必要な、統合されたリスクと財務の変革のための統一されたプラットフォームを提供します。

Connect with us

Call +1.800.ORACLE1 or visit oracle.com. Outside North America, find your local office at: oracle.com/contact.

 blogs.oracle.com

 facebook.com/oracle

 twitter.com/oracle

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

This device has not been authorized as required by the rules of the Federal Communications Commission. This device is not, and may not be, offered for sale or lease, or sold or leased, until authorization is obtained.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0120

Disclaimer: If you are unsure whether your data sheet needs a disclaimer, read the revenue recognition policy. If you have further questions about your content and the disclaimer requirements, e-mail REVREC_US@oracle.com.